

2023
Vol.29

九大別府病院

だより Kyushu University Beppu Hospital



九大別府病院創立90周年記念式典にて撮影（令和4年8月11日／別府国際コンベンションセンター フィルハーモニアホール）

病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足し、医療の発展に貢献する病院を目指します。

基本方針

- ◆ 高度医療の提供と研究開発の推進
- ◆ より高い医療安全の追求
- ◆ 地域医療への貢献
- ◆ 情報技術を基盤にした国際化の推進
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

新年のご挨拶	2
九大別府病院創立90周年記念式典	3
九大別府病院の再開発事業	4
外来棟仮設玄関の設置のお知らせ	5
アプリを使用した医療連携の取り組み	6
新任医師の紹介	7
外来診療案内等	8



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital



新年のご挨拶

九州大学病院別府病院長

堀 内 孝 彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様には日頃から当院にご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)パンデミックは、ついに3年目を迎えました。とくに最近では医療機関、高齢者施設でのクラスターが問題になっており、高齢、基礎疾患などのリスク因子のある方で新型コロナ感染はいまだに注意すべき状況です。ワクチンの追加接種や経口治療薬の効果により、今年こそはCOVID-19が収束へ向かうことを願っております。私どももより一層の感染対策に取り組み、大学病院としての診療機能の維持に努めてまいり所存です。

当院は1931(昭和6)年に九州帝国大学温泉治療学研究所(温研)として創立され、2021(令和3)年10月31日に創立90周年を迎えました。昨年2月に予定していた創立90周年記念式典はCOVID-19の影響で延期となりましたが、2022(令和4)年8月11日に別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)において、無事開催させていただくことができました。これもひとえに別府市をはじめとした行政の皆さま方、医師会の皆さま方、地域の皆さま方のたゆまぬ協力とご支援によるものと深く感謝しております。

当院は、2024(令和6)年3月の新病院開院を目標に別府病院地区の再開発計画を進めています。再開発事業は2021(令和3)年4月に文部科学省から正式に施設整備事業として承認されて本格的に開始されており、今年度はその総仕上げの年となります。

現在は、新病院の基礎工事を進めており、さらに病院本体の建築着手につなげつつあります。患者さん、近隣住民の皆さま方には工事期間中ご迷惑をおかけいたしますが、もうしばらくご協力、ご理解を賜ることができましたら幸いに存じます。

さて、新病院は従来の内科、外科、整形外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科に新たに婦人科を加えた7診療科、急性期病床120床の体制で拡充、整備されます。温研創立当初に開設された産婦人科は2006(平成18)年にいったん診療を休止しましたが、有難いことに別府市医師会や大分県産婦人科医会、地元の皆さまの強い要望をいただき、また九州大学病院産科婦人科の力強いご支援もあり新病院開院にあわせて再開できることになっています。新しい病院では、別府湾の眺望を活かした病室を提供し、さらにその周りでは緑に囲まれた敷地を活かした優しい療養環境を整備する予定です。

当院は創立当初から一貫してその時代時代の難病を克服するべく研究、診療に取り組んできました。これからも「難治性疾患への挑戦」を続けてまいります。これからも地域の皆さまに貢献できる病院として職員一同全力を尽くして参ります。

最後に、皆さまの益々のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



九大別府病院創立 90周年記念式典

令和4年8月11日に大分県別府市の別府国際コンベンションセンター フィルハーモニアホールにて、九州大学病院別府病院創立90周年記念式典を開催いたしました。

当日は、徹底した新型コロナウイルスの感染防止対策のもとに式典を執り行いました。



堀内九大別府病院長挨拶

九大別府病院は、温泉の効能の基礎的研究と治療への応用を目指した国立大学最初の専門施設として、1931年(昭和6年)に誕生しました。その設立には、九州大学第三内科初代教授、小野寺直助先生をはじめとした九州大学の熱意、そして地元の皆様方の招致の熱意、この二つの熱意が大きな後押しとなりました。

初代所長は、心臓の房室結節、刺激伝導系の発見で世界的に有名な田原淳教授でした。1982年(昭和57年)に時代の要請に伴い、長らく「温研」という愛称で親しまれた当院は、生体防御医学研究所附属病院に改組されました。生体防御をキーワードとして、「免疫、がん、遺伝、そして循環器疾患」などの難病に対する「基礎から臨床までの一貫した先進的研究施設」に生まれ変わりました。

2003年(平成15年)には、九州大学医学部、歯学部、生体防御医学研究所の附属3病院が統合されて九州大学病院となったのにもない、当院は、別府先進医療センターに改組され、さらに2011年(平成23年)にその機能を充実、進化させ、九大別府病院となって現在にいたっております。

このような長い歴史のなかで、九大別府病院が地域の社会に貢献してこれたのも、別府市をはじめとした行政の皆さま方、医師会の皆さま方、地域の皆さまのたゆまぬ協力とご支援によるものと深く感謝しております。

創立90周年記念式典では、堀内孝彦別府病院長の開会の挨拶に始まり、石橋達朗九州大学総長、中村雅史九州大学病院長のご挨拶の後、ご来賓として長野恭紘別府市長様、河野幸治大分県医師会会長様及び岡田豊和別府市医師会会長様にご挨拶をいただきました。

また特別講演として大分医学技術専門学校長(大分大学名誉教授) 島田達生先生、九州大学文書館准教授 赤司友徳先生及び九州大学病院産科婦人科長／教授 加藤聖子先生にそれぞれ、九大別府病院に関わる貴重な講演を行っていただきました。

式典の最後に三森功士別府病院副病院長の挨拶にて滞りなく閉会いたしました。

当日は晴天にも恵まれ、創立90周年を祝うに相応しい盛大な会を催すことができました。

九大別府病院はあと1年あまりで新病院に生まれ変わります。新病院完成のあかつきには、九州大学病院との人的な交流、遠隔医療の充実をさらに進め、九州大学の誇る世界最先端の医療を、迅速かつ確実に大分県に提供できる体制を整えてまいります。

新病院では、別府湾の眺望や緑に囲まれた敷地を活かした優しい療養環境を整備する予定です。最先端の医療から温泉や深い森を利用した癒しの医療まで、すべての治療オプションを備えた素晴らしい病院になると確信しています。

九大別府病院は、創立90周年という節目の年に、長い歴史の重みを改めて認識し、新病院開院という新たな一歩に向けて大きく踏み出します。

これからも別府市そして大分県の皆様に貢献できる病院、愛される病院となるよう、職員一同全力を尽くして参ります。どうぞご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



石橋九州大学総長挨拶



中村九州大学病院長挨拶

九大別府病院の再開発事業

九大別府病院は、創立90周年という節目の年に、長い歴史の重みを改めて認識し、新病院開院という新たな一歩へ向けて大きく動き出しています。

新病院開院を含む九大別府病院再開発事業は2021(令和3年)年4月に文部科学省施設整備事業として承認されました。



現在、2024(令和6年)年3月の新病院開院を目指して準備を進めています。既に建物の設計を終え、敷地の東側(別府湾側)に新病院の建設が開始されており、建設工事を順次進めているところです。

新病院は従来の内科、外科、整形外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科に新たに婦人科を加えた7診療科、急性期病床120床の体制で拡充、整備されます。温研創立当初に開設された産婦人科は2006(平成18)年にいったん診療を休止しましたが、別府市医師会や大分県産婦人科医会、地元の皆様の強い要望があり、また九州大学病院産科婦人科の力強いご支援もあり新病院開院にあわせて再開することになっています。当院はこれまで女性に多い疾患(関節リウマチなどの自己免疫疾患、線維筋痛症、骨粗しょう症、乳がん、甲状腺がん)の診療に取り組んできた実績があります。婦人科が再開することにより、女性全般の疾患を診療する体制が整います。当院の強み、特色である専門領域(関節リウマチ、膠原病、固形がん、血液疾患、脊椎・脊髄疾患、高度放射線治療などの大学病院としての高度専門医療)を軸とした診療を展開し、地域医療に貢献するとともに、福岡の九大病院のサテライト病院としての機能強化を図っていきます。

新病院は地上3階建となります。1階は主に診察室や総合受付などの外来診療エリアになります。プライバシーに配慮した婦人科専用の待合スペースも設けています。2階と3階は各診療科の病棟になります。高台にある立地を活かし、新病院からは別府湾を一望できるよう設計しています。また西側(鶴見岳側)の病室からは、当院の広い森とその後ろにそびえる雄大な鶴見岳の頂を眺めることができる予定です。

また、新病院が開院したのち、既存棟の改修工事と旧病院の取り壊しを行い、2025(令和7年)年度には事業完了となる計画です。

再開発事業により、地域社会により一層貢献するため、大学病院として更なる機能強化を図ります。

別府病院再開発スケジュール

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
設 計	実施設計				令和6年3月新棟開院予定	
	新棟新築工事			工期21ヵ月		
工 事	既存棟改修工事				工期13ヵ月	
	既存棟取壊し工事					工期12ヵ月

仮設玄関設置の お知らせ

**新病院建設工事のため
玄関入口の位置が移動します**

下図のとおり仮設の玄関を設置し、患者様の誘導や安全確保に支障のないよう万全な体制を整えて参りますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。



期間：令和5年3月1日～新棟開院前(令和6年2月29日頃)

アプリを使用した医療連携の取り組み

内科 柏戸 佑介



関節の痛みが続く。

そんな時、一般の人はリウマチの専門家ではなく、かかりつけの内科や近くの整形外科に相談すると思います。そして、リウマチが専門でない医師はどのような症状があればリウマチ科を紹介していいか悩むのではないのでしょうか。

当院の免疫・血液・代謝内科では関節リウマチをはじめとしたリウマチ性疾患の患者さんを多く診療しています。

他院の先生方からのご紹介もあり、年50人以上の新規患者さんを診断していますが、残念ながら当科に到着するまでに必要以上に時間がかかっていると思う患者さんも多くいます。

なぜ、そのようなことになるか。主な原因は2つあると考えています。

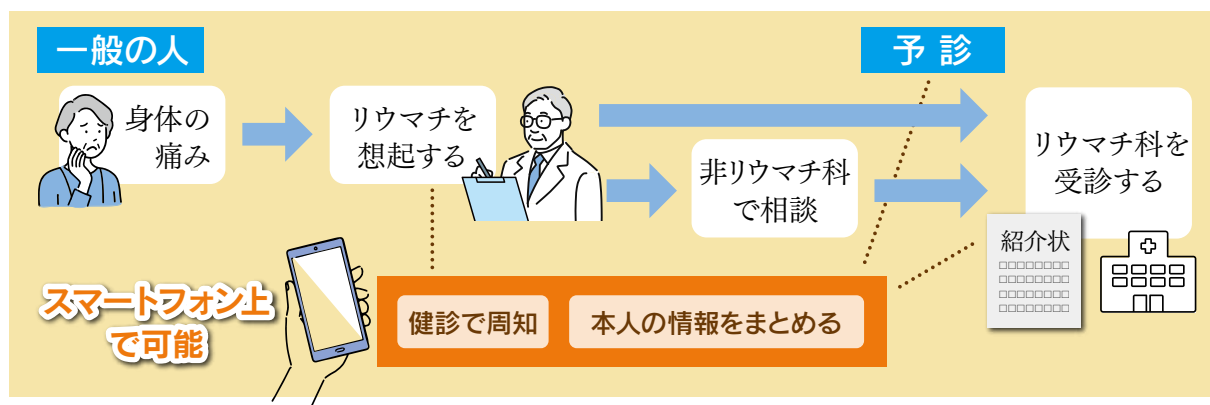
- リウマチ性疾患を思いあたらない
- リウマチ科が受診・紹介にくい

これらの問題を解決すべく、2022年10月から別府市医師会のリウマチ班と当院が協力して、健診現場でのスマートフォンアプリの実証実験を開始しています。本研究では、健診現場でリウマチを想起させるチラシを配布し、アプリ上で健診受診者が自分で症状を入力すると連携しているリウマチ科の受診の仕方が分かる、という内容になっています(図)。

医師からの視点でみると、症状がアプリ上で自動的にまとめられて病歴となるため、紹介状は非常に簡素(もしくは白紙)でよい、と手間も省ける内容です。また、最終的には、リウマチ科を受診した方がいいかの判定まで自動的に行えるようにしたいと考えています。

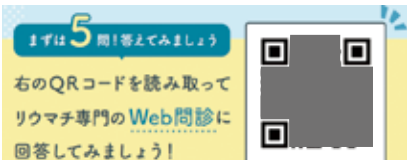
高齢者の使用は難しいかもしれませんが、スマートフォンが使用可能な人であれば参加可能です。この取り組みを続けていけば、今までよりもリウマチを早期発見、早期治療できる世の中になると信じています。

健診を実施している開業医の先生方にはチラシを郵送させていただきました。ご多忙のところ大変恐縮ですが、お手元に届いた医院の皆様には、何卒ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。



今、健診現場で行っていること

QRコード付きのチラシを配布



ブラウザで
被験者が入力



病歴を要約

主訴:こわばり、多関節痛 現病歴:
●歳男性。202X年X-3月頃に運動した後から右手関節に疼痛を認めるようになった。関節痛は増悪傾向で、現在は右1-5MCP、右手に関節痛、右手関節と右手指に腫脹を認める。
既往歴:2017年:乾癬



外科



廣瀬 皓介（ひろせ こうすけ）

初めまして。昨年7月より外科にて勤務しております廣瀬皓介と申します。

福岡県で生まれ育ち、東北大学卒業後、地元福岡県の飯塚病院で初期・外科研修を終え、九州大学第2外科へ入局し、関連病院で消化管外科の研鑽を積んで参りました。専門は上部消化管、特に食道領域を中心に勉強しております。昨年7月からは別府病院外科の三森先生の下で、主に癌の基礎研究に従事する機会を頂きました。

癌に苦しむ患者様の明るい未来につながるような研究成果を出せるように日々精進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

麻酔科



中野 友貴（なかの ゆうき）

2023年1月より麻酔科に就任いたしました、中野友貴と申します。出身は福岡県福岡市です。九州大学医学部を卒業後、久留米市の聖マリア病院にて初期研修を行い、2022年に九州大学病院麻酔科蘇生科に入局しました。九州大学病院本院を経て、別府病院にて勤務させていただきます。

まだまだ未熟ではありますが、少しでも皆様の力になれるよう精一杯頑張りたいと思っている所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

九州大学病院別府病院 外来診療案内

2023年2月1日現在

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ・膠原病 (新患予約制)	堀内孝彦(再来) 木本泰孝 日浦惇貴	堀内孝彦(再来) 日浦惇貴(再来)	木本泰孝 柏戸佑介	病棟回診日	堀内孝彦(再来) 木本泰孝 柏戸佑介
	血液病		山崎聡	山崎聡		山崎聡
	がん・腫瘍 (新患予約制)	大村洋文	大村洋文			大村洋文
	慢性疼痛	前田豊樹	前田豊樹		前田豊樹(再来)	
	骨粗鬆症	前田豊樹	前田豊樹		前田豊樹(再来)	
	循環器病一般 心不全・肺高血圧外来 血管疾患外来 睡眠時無呼吸外来 難治性高脂血症外来 (新患予約制)	得能智武 秋山雄介	得能智武 秋山雄介 午後 心血管カテーテル 検査・治療日	秋山雄介	病棟回診日 午後 心血管カテーテル 検査・治療日 (予備日)	得能智武
外科	一般消化器門	三森功士 米村祐輔 久松剛雄	三森功士 手術日	三森功士 米村祐輔 久松剛雄	三森功士 手術日	三森功士 手術日
	肝・胆・膵	米村祐輔 戸島剛男	手術日	米村祐輔 戸島剛男	手術日	米村祐輔 戸島剛男
	乳腺	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明
整形外科 (脊椎脊髄)	脊椎外科 (完全予約制)	手術日	熊丸浩仁 齋藤武恭 吉崎真吾 大野瑛明	手術日	播谷勝三 齋藤武恭 吉崎真吾 大野瑛明	播谷勝三 熊丸浩仁 大野瑛明
放射線科	放射線治療	本村有史	本村有史		本村有史	
	放射線画像診断	平川雅和	南條勝哉	平川雅和	平川雅和	平川雅和
共通	上部消化器内視鏡	米村／久松	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉	米村／久松
	下部消化器内視鏡	米村／南條	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉	米村／南條
	EMR / ESD	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉	南條勝哉
	ERC P	_____	_____	_____	_____	_____
	セカンドオピニオン	要 予 約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

受付時間 初診 8:30~11:00

再来 8:30~12:00 (予約の方は除く)

地域医療連携室へ
お電話ください

●整形外科…完全予約制

●内科:リウマチ・膠原病、がん・腫瘍、循環器…新患予約制

●放射線治療…初診8:30~11:00

※但し土日、祝日は休診(急患は除く) 代表電話0977-27-1600 地域医療連携室:フリーダイヤル 0120-272-518 直通:0977-27-2055

地域医療
連携室より問合せ先
ご案内

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・検査依頼は、電話にて受け付けております。依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・結果は、CDデータ・報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- ・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、持ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関する
お問い合わせ

月~金 8:30~17:00 ☎0120-272-518(専用)

TEL:0977-27-2055(直通) FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.29



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原4546番地

代表 TEL 0977-27-1600

URL <https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>